

桑津地区防災計画

(要約編)

自主防災組織（付記）

- 1. 組織体制**
- 2. 避難所運営委員会**
- 3. 資料編**

桑津連合振興町会

平成30年10月18日作成

はじめに

安全で安心して住める町をめざす桑津地域では、防災に関して自助・共助・公助の対策が必要と言われる中で、特に共助を重点に地域の協働体制の確立に努めています。

毎年8月の最終日曜日を、「桑津連合防災の日（そなえよつねに）」と定めて、関係機関と連携して合同防災・減災の訓練や各町会単位の防災活動及び初期消火訓練、救急救護訓練等に取り組んでいます。

この度、災害発生時の対策として、桑津地域の自主防災組織を作り、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

桑津連合振興町会
会長 門脇 泰一

目次

1	基本的な考え方	3
2	対象地域	4
3	活動方針	4
	(1) 平常時の対応	4
	(2) 災害時の対応	5
	(3) 避難行動要支援者等への支援	5
4	予想される災害	<中略>
	(1) 地震による被害想定	<中略>
	(2) 水害による被害想定	<中略>
5	自主防災組織	7
	(1) 組織体制（災害対策本部）	7
	(2) 避難所運営委員会	9
	(3) 自主防災訓練の実施	<中略>
	(4) 避難所、器具、資器材、備蓄物資等の点検	<中略>
	(5) 避難行動要支援者支援の検討	<中略>
6	災害発生時の避難行動	<中略>
	(1) 地震	<中略>
	(2) 風水害	<中略>

資料編

1	地域情報	1
2	防災マップ（避難経路）	2
3	避難所設営図	3
4	備蓄物資・資器材	4
	(1) 災害時避難所	4
	(2) 可搬式ポンプ庫	4
	(3) 地域の保管場所	4

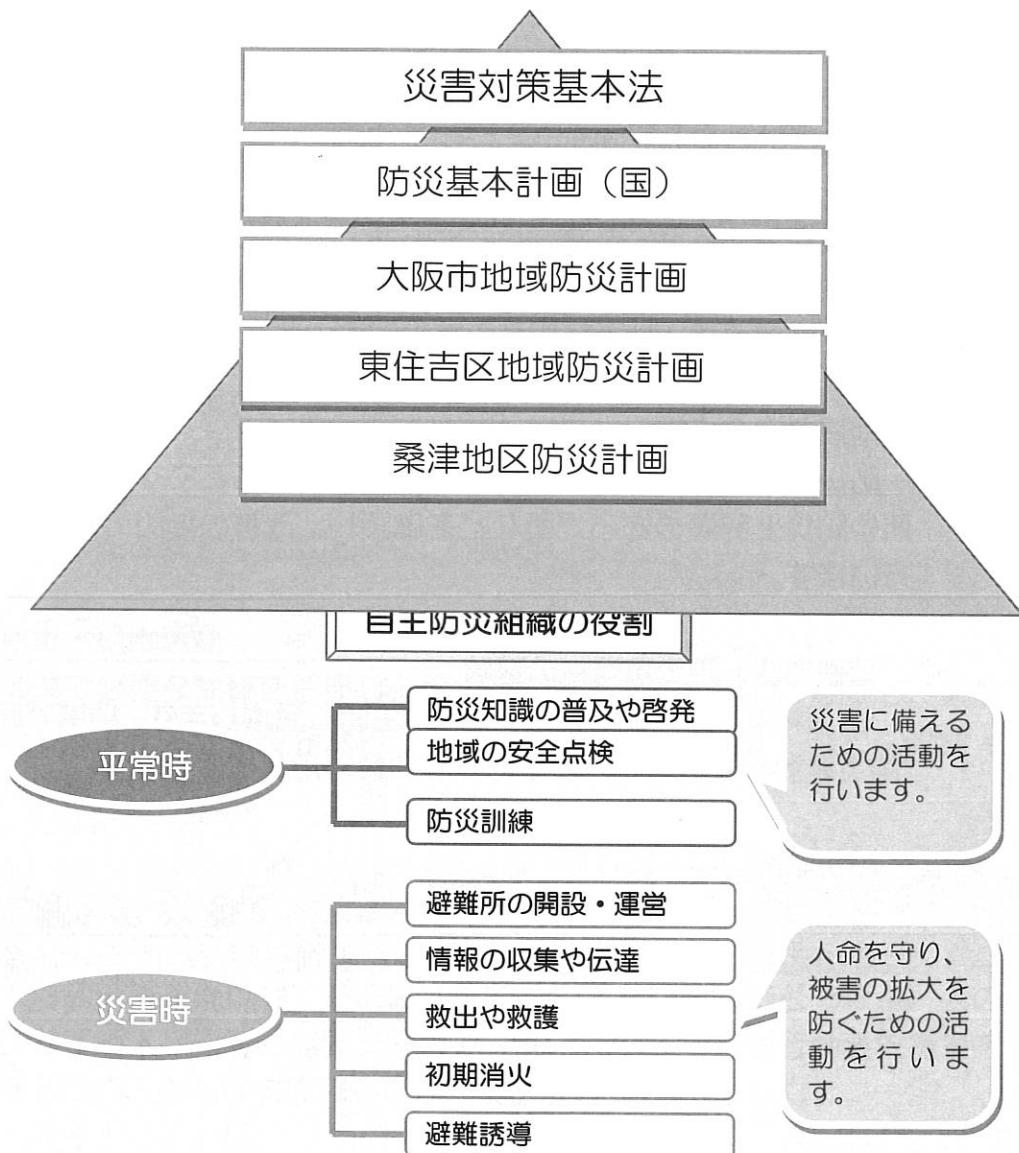
1 基本的な考え方

災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の同時多発などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき、力を発揮するのが「隣近所をはじめとした地域の協力体制」です。

実際に、阪神・淡路大震災のときには、地域住民が自発的に救出・救助活動を行い、多くの人命を救うとともに、その後の復興にも大きな力を発揮しました。

また、東日本大震災のときのように避難所生活が長引く場合にも、地域住民が助け合って、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。

私たちの地域では、「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、地域のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。



2 対象地域

この計画の対象地域は、次のとおりとします。

- ・桑津1丁目～5丁目
- ・駒川1丁目
- ・西今川1丁目

3 活動方針

(1) 平常時の対応

いざというときに地域の力が発揮できるよう、地域のみんなで協力して防災活動に取り組みます。

ア 防災知識の普及・啓発

防災対策では、地域住民の一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地域住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

イ 地域の安全点検

防災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。地域の危険な場所や防災上問題のある場所などを確認し、改善のための働きかけなどを行います。

ウ 備蓄物資・防災資器材の整備

備蓄物資・防災資器材は、災害発生時に活躍します。地域で備蓄物資・防災資器材を整備し、日頃の点検や使い方を確認します。

エ 防災訓練

防災訓練は、いざというとき、あわてず、的確に対応するための欠かせない活動です。地域住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行います。

(2) 災害時の対応

災害時は、負傷者の発生や火災など様々な事態が発生する可能性があります。区災害対策本部等関係機関とも連携しながら、みんなで力を合わせて活動します。

ア 情報の収集・伝達

区災害対策本部等関係機関などから正しい情報を収集し、地域住民に伝達します。また、地域の被災状況や火災発生状況などを取りまとめ、区災害対策本部へ報告します。

イ 救出・救助活動

自分自身がケガをしないよう注意しながら、みんなで協力して負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

ウ 初期消火活動

火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。

エ 医療救護活動

医師の手当てが受けられるまでの間、負傷者の応急手当をして、救護所などへ搬送します。

オ 避難誘導

地域住民を安全な避難場所などへ誘導します。

カ 給食・給水活動

地域で必要な物資を把握し、区災害対策本部とも連携しながら、必要に応じて、在宅避難者を含めた地域の避難者に、炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

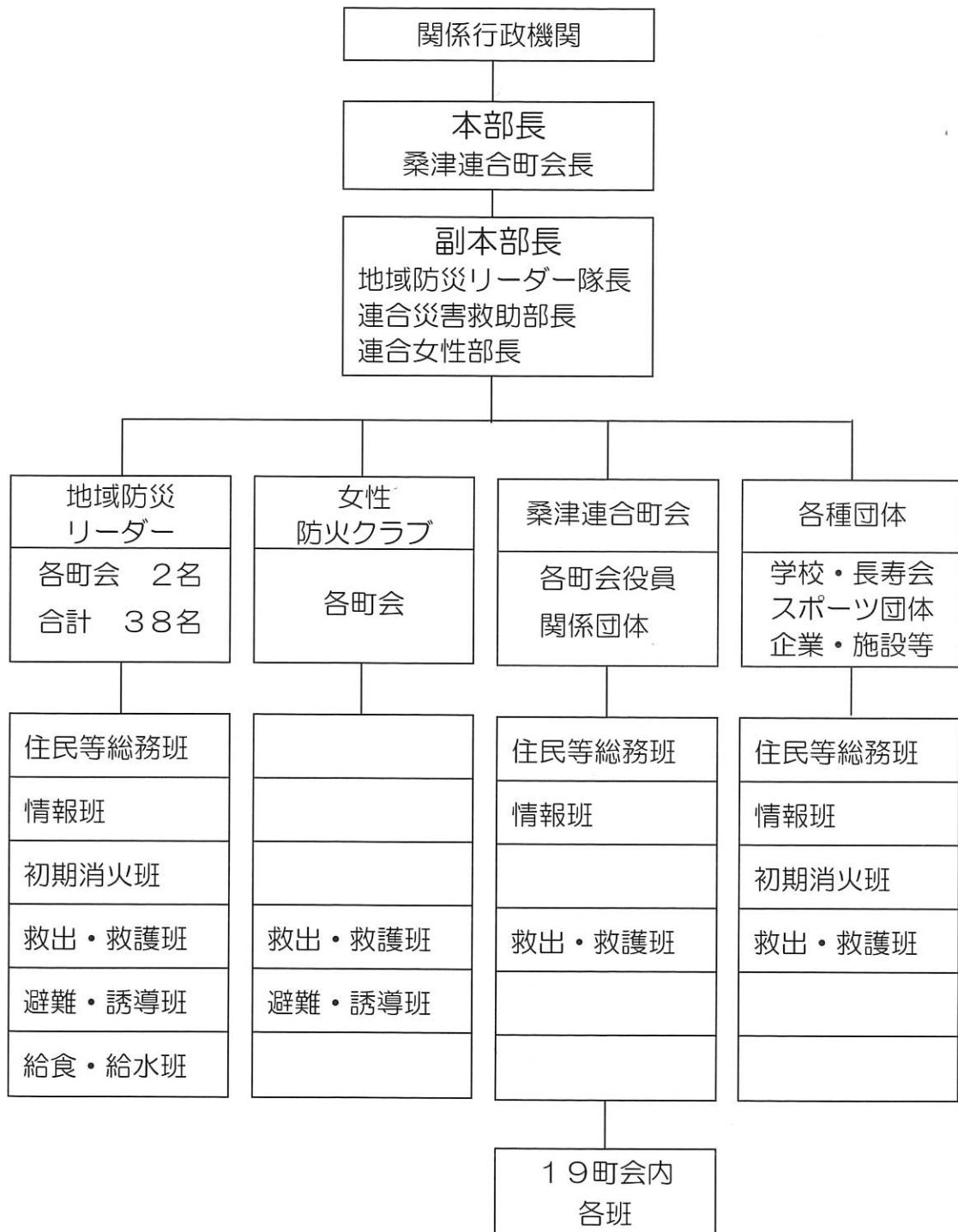
(3) 避難行動要支援者等への支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障がい者、子どもなど、人の助けを必要とする人（避難行動要支援者）です。こうした避難行動要支援者を災害から守るため、みんなで協力しながら支援を行っていきます。

- ア 避難行動要支援者の身になって、防災環境の点検・改善を行う。
目や耳の不自由な人にも、警報や避難情報がきちんと伝えられるか、
避難経路等に障害物や危険な場所はないかなどを点検し、改善に努めます。
- イ 避難するときは、しっかり支援する。
隣近所の助け合いが重要です。複数の避難支援者が一人の避難行動要支援者を支援できる体制を作り、支援に努めます。
- ウ 困ったときこそ温かい気持ちで接する。
非常時こそ、不安な状況に置かれている人にやさしく接する必要があります。
困っている人や避難行動要支援者には、思いやりの心を持って接します。
- エ 日頃から積極的にコミュニケーションを図る。
いざというときに円滑に支援ができるよう、日頃から積極的に避難行動要支援者とのコミュニケーションを図ります。

<付記>5 自主防災組織

(1) 組織体制（災害対策本部組織図）



災害対策本部の緊急行動体制

1. 初期の活動

- 災害発生時のパニック状況の中で、役割分担による各組織の行動体制が急務である
- 指揮系統が確立するまでの各部署の活動内容について、所属組織の行動内容について事前の理解と緊急時対策
- 人員の確保と安全管理

2. 関係機関との連携

- 情報の整理・収集と伝達方法
- 災害対策用装備の持ち出し及び搬送と災害現場での活用
- 人員の確保と安全管理

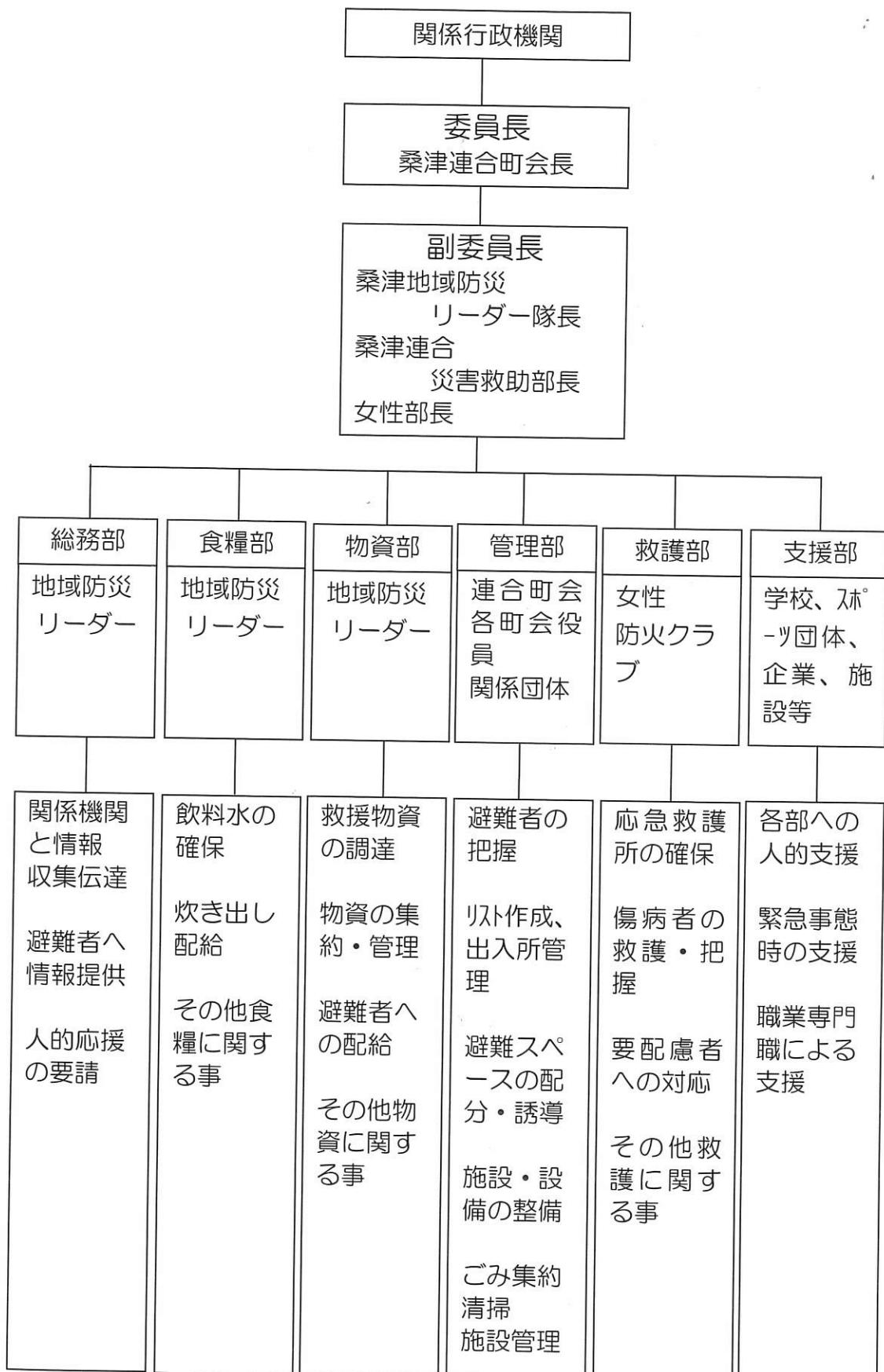
3. 防災備品の一覧「桑津会館で保管リスト」 (区役所からの資材配備品)

2016. 3 現在

備 品 名	数量	備 品 名	数量
防災用かまどセット(5升炊き)	2	水杓、火はさみセット	2
炊き出し用薪(燻薪5kg)	5	大皿(50枚)	2
エコ容器(お椀50枚・1組)	10	エコ容器(大皿50枚・1組)	10
救急セット(50人分)	1	ハンドマイク(拡声器)	3
ランタンセット	2	ウェットタオル(1箱・50袋)	1
ポータブルテント	2	ポータブルトイレ(ニューブルマル)	2
ポータブルトイレ(ミニマル)	3	トイレ処理セット(100回分)	1
キャリーフ(担架)	2	ディスピストレッチャー(担架)	2
アルミプランケット	20	レスキュー簡易寝袋	4
移動式救助工具セット(標準)	1	折り畳みリヤカー	2
救急用品セット(20人分)	2	ワンタッチトイレ	2
トイレ処理セット(100回分)	2	トイレ処理セット(50回分)	5
ライト&ホイッスル	60		

追記 ■災害備蓄保存用パン(1箱24缶・3種類) 6箱
■保存水(500ml×24本) 1箱、(1500ml×8本) 1箱

(2) 避難所運営委員会（避難所運営組織図）



避難所運営委員会の緊急行動体制

1. 初期の活動

- 災害発生時のパニック状況の中で、役割分担による各組織の行動体制が急務である。
- 指揮系統が確立するまでの各部署の活動内容について、所属組織の行動内容について事前の理解と緊急時対策
- 避難者の人員把握と安全管理

2. 関係機関等との連携

- 情報の整理・収集と伝達方法、特に医療機関との連携
- 生活備品の確保と配給等の方策
- 健常者の避難所運営への支援と安全管理

3. 避難誘導の対応

- 各地域の一時避難場所から災害時避難所への適切な誘導
- 病人、負傷者等の手当と看護場所の確保
- 障害者、老人、子ども等の居場所作りと対応

4. 防災備品の一覧「桑津小学校・東住吉中学校保管リスト」 (区役所からの資材配備品)

桑津小学校・東住吉中学校

2018.10

品目	数量	品目	数量
毛布	300枚	簡易トイレ（本体）	4基
飲料水(500mlペットボトル)	1800本	簡易トイレ（消耗品）	8組
ブランケット（簡易毛布）	50枚	アルファ化米・お粥	300食
懐中電灯	20本	ビスケット	150食
ラジオ	10台	救助資器材セット	1組
ブルーシート（防水）	120枚	プライベートルーム	2
日用品セット	120組	エアーマット	12
発電機（ガス式）	4台	筆記用具等	一式
工業扇	4台	台車	1台
ガスコンロ	3台	コードリール（小学校のみ）	1個
伝言シート	1セット	拡声器	1
投光器三脚	2	ビブス	50
記入式ビブス	100	マグネシウム電池	1
トイレント	1		

可搬式ポンプ庫の設置場所及び初期消火訓練等の企画 ・実施

1. 設置場所 桑津北公園、桑津公園、桑津東公園、駒川北公園

2016.3 現在

備 品 名	数量	備 品 名	数量
可搬式ポンプ関係備品	1 セット	ロープ	1
バール	3	かけや	1
のこぎり	3	布担架	1
ジャッキ	2	救急箱	1 セット
シャベル	4		

2. 地域の保管備品及び倉庫等は検討中

3. 初期消火訓練など

○順番に各公園において、毎年1回地域防災リーダーをはじめ近隣町会を中心に訓練を実施

○可搬式ポンプでの初期消火訓練、応急手当、AED の講習、ロープワーク、救急搬送訓練等の活動

○毎年8月最終日曜日「桑津連合防災の日」(そなえよつねに) を中心に、各町会単位で訓練の企画と実施

資 料 編

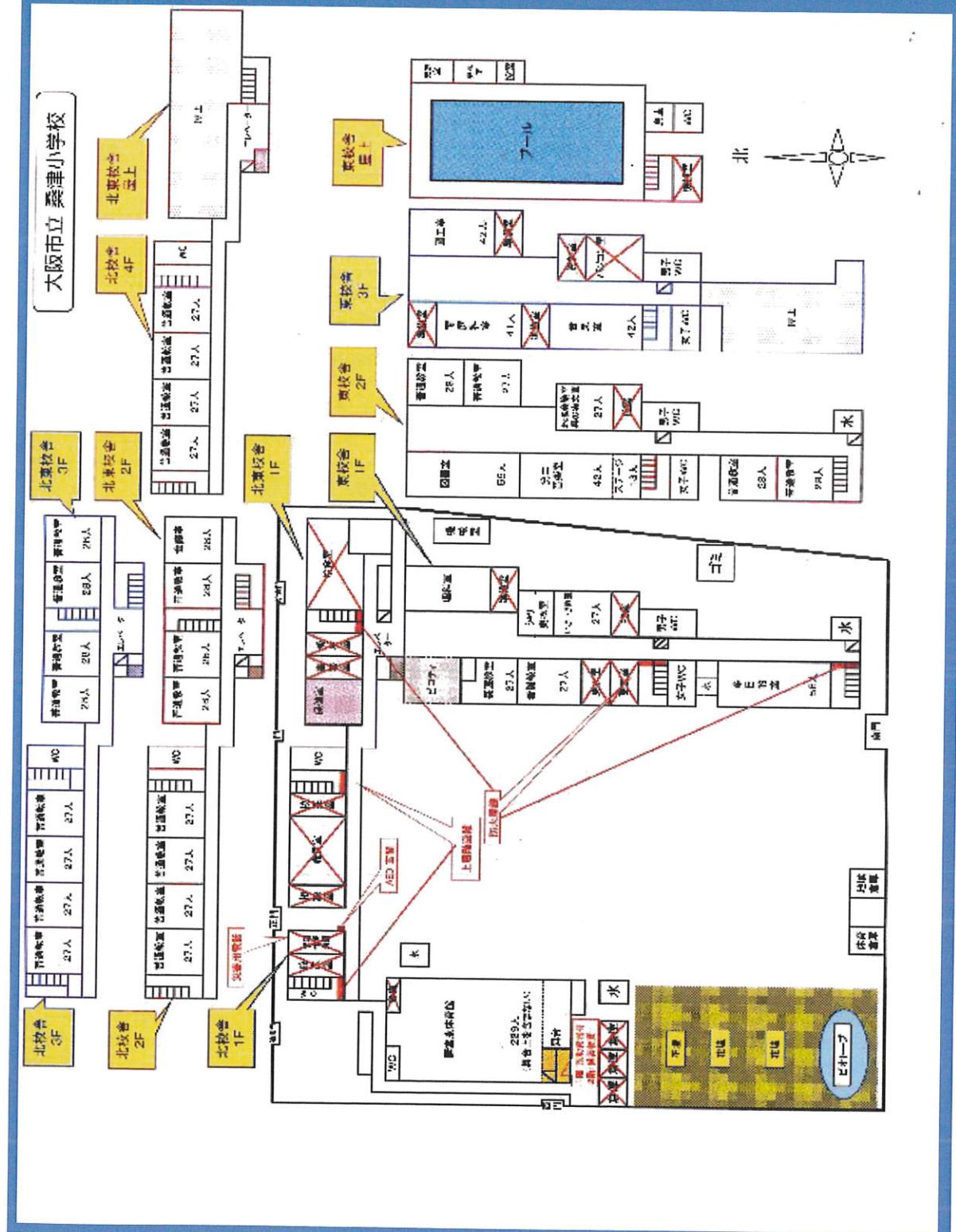
1 地域情報

防災関係役員	役員	電話番号
	連合町会長	
	女性部長	
	副会長	
	副会長	
	副会長	
	災害救助部長	
	地域防災リーダー隊	
	女性防火クラブ推進委員	
2 災害時避難所	施設名	電話番号
	桑津小学校	TEL 6713-0922
3 緊急時の連絡先	東住吉中学校	TEL 6719-4488
	連絡先	電話番号
	東住吉区役所（防災担当）	TEL 4399-9909
	東住吉区保健福祉センター（保健担当）	TEL 4399-9882
	東住吉警察署	TEL 6622-1234
	東住吉消防署	TEL 6691-0119
	水道（お客様センター）	TEL 6458-1132
	下水道（平野管路管理センター）	TEL 6705-0342
	道路（建設局平野工営所）	TEL 6705-0102
	環境局中部環境事業センター	TEL 6714-6411
	関西電力	TEL 0800-777-3081
	大阪ガス	TEL 0120-0-19424
	NTT	TEL 0120-444-113
	東住吉森本病院	TEL 6606-0010
4 その他特記事項		

2 防災マップ（避難経路）



避 難 所 設 置 図



4 備蓄物資・資器材

(1) 災害時避難所

桑津小学校・東住吉中学校

2018.10,

品目	数量	品目	数量
毛布	300枚	簡易トイレ(本体)	4基
飲料水(500mlペットボトル)	1800本	簡易トイレ(消耗品)	8組
プランケット(簡易毛布)	50枚	アルファ化米・お粥	300食
懐中電灯	20本	ビスケット	150食
ラジオ	10台	救助資器材セット	1組
ブルーシート(防水)	120枚	プライベートルーム	2
日用品セット	120組	エアーマット	12
発電機(ガス式)	4台	筆記用具等	一式
工業扇	4台	台車	1台
ガスコンロ	3台	コードリール(小学校のみ)	1個
伝言シート	1セット	拡声器	1
投光器三脚	2	ビブス	50
記入式ビブス	100	マグネシウム電池	1
トイレント	1		

(2) 可搬式ポンプ庫

設置場所：桑津北公園、桑津公園、桑津東公園、駒川北公園

品目	数量	品目	数量
可搬式ポンプ関係備品	1セット	ロープ(40m)	1本
バール	3本	かけや	1本
のこぎり	3本	布担架	1枚
ジャッキ	2台	救急箱	1セット
シャベル	4本		

(3) 地域の保管場所〈検討中〉